

西九州通信

NAGASAKI
2019

第5号

平成31年1月

西九州自動車道(調川 IC~松浦 IC) 12月15日開通!



祝 西九州自動車道 伊万里松浦道路 (調川 IC~松浦 IC) 開通

主催 国土交通省九州地方整備局 長崎河川国道事務所
長崎県西九州自動車道建設促進期成会

平成三十年十二月十五日

開通を記念して地元関係者約180名が出席

開通式典・テープカット・くす玉開き・通り初めの状況

西九州自動車道 伊万里松浦道路(調川IC~松浦IC)が平成30年12月15日(土)に開通しました。

今回の開通により、伊万里松浦道路の長崎県内の区間が全線開通したことになり、物流、観光、防災、救急医療などへの効果が期待されます。

開通に先立ち開催した開通式典には、国土交通省道路局長、長崎県知事のほか地元選出の国会議員、沿線自治体の首長および地元関係者約180名が出席しました。

開通式典後には、テープカット・くす玉開き・通り初めを行い、関係者や地元の方々とともに、本線の開通を祝いました。



通り初め

物流トラックを先頭に開始



司会進行

松浦高校放送部



オープニングアトラクション

松浦高校吹奏楽部



通り初め

「昭和の車」が隊列



アトラクション

松浦高校なぎなた部

今回の開通式典では、地元の松浦高校にご協力頂いており、式典前にはオープニングアトラクションとして吹奏楽部が演奏を行いました。また、テープカット・くす玉開きの直前に行われたアトラクションでは、なぎなた部が演武を披露し盛大な拍手に包まれた。式典各所で多くの華を添えて頂きました。

通り初めでは、物流トラック、観光バス、救急車両など西九州自動車道の開通に伴う効果が大きく期待される車両や、西九州自動車道が昭和62年に高規格幹線道路として決定されていることから、その時代を代表する「昭和の車」が通り初めを行い開通を盛大に祝いました。

その後、白バイ・パトカーの先導により、会場にお越し頂いた来賓の方々や地元関係者の皆様に乗る車両に通行して頂きました。



式辞
国土交通省 道路局 局長
池田 豊人

西九州自動車道は、九州北西部における都市を連絡する全体延長約150kmの高速道路であり、今回の開通により、開通延長は全体で約15km、約8割になります。このように多くの方の開通式典を迎えることができたことは、貴重な用地を提供頂いた地権者を始め、沿線の方々の協力と理解の賜物です。残区間については、全線の早期整備に向け、引き続き全力で取り組みたいと考えているため、今後もご協力やご支援をお願い申し上げます。



祝辞
参議院議員
金子 原二郎

西九州自動車道は国の力添えを頂き30年が経ち、調川ICから松浦IC間が開通し、長崎県内の伊万里松浦道路は、全て開通したことになります。県北にとつては、西九州自動車道の早期完成が悲願ですので、如何に早く完成させるかということ、これからも精一杯頑張りたいと思っております。本日の開通を心からお喜び申し上げ、地権者の皆様方へ大変なご協力に対して感謝を申し上げます。



祝辞
参議院議員
古賀 友一郎

西九州自動車道は、昨年に今福ICから調川IC間が開通し、今回、この調川ICから松浦IC間が開通ということ、着々と進捗を遂げること力強い動きを感じます。関係者の皆様のご尽力に心からの敬意と感謝を申し上げます。西九州自動車道は、県北悲願の道路のため、引き続き力を合わせて整備財源の確保、特に、私は地方負担のフオーをしっかりと取り組んでいきたいと思ひますので、よろしくお願い申し上げます。



挨拶
長崎県 知事
中村 法道

調川ICから松浦IC間の開通により、佐賀県と本県を結ぶ伊万里松浦道路のうち、長崎県内の全ての区間が完成することとなり、さらなる活性化に繋がると期待しております。県と致しましては、関係する皆様方と連携を一層深めながら、整備の促進に全力を注いで参りたいと思ひます。どうか皆様方におかれましては、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



祝辞
衆議院議員
北村 誠吾

西九州自動車道を一日も早く繋ぐという事を実現するため、国土交通省や政府の努力により、今日を迎えることが出来た。今後とも、地域の皆様の積極的なご協力を頂きながら、約150kmを一日も早く繋げることに頑張りたいと思ひます。特に、今日は開通式典に参加し、活躍された松浦高校の皆様に感謝申し上げます。今後は「道路は若い人達の未来のために役に立つ」ということを確信しながら仕事に励みたいと思ひます。



祝辞
参議院議員
秋野 公造

本日、「道の駅」松浦海のふるさと館に立ち寄り、道の駅が非常に高揚感ある状況で、今日から便利な高速道路を使うことが出来る松浦市民が、その便利を感じて頂けるのではないかとと思ひます。平戸市や佐々町が見えて、佐世保市、そして東彼杵町が近くなって来ました。一日も早い全線開通を目指す気持ちは皆様と同じであります。更に熱気を燃え上がらせて、力を合わせて全線開通を目指していきます。



閉式の挨拶
松浦市長
友田 吉泰

県北地域の骨格となる西九州自動車道が、いよいよ松浦市の中心部に入って参りました。松浦市民にとつては、待ちに待った日です。西九州自動車道は、昭和の終わりに、昭和の終わりに、第四次全国総合開発計画に掲げられた全長1万4千kmに及ぶ高規格幹線道路網の一端として整備された道路であり、昭和に時かれた種が平成に実を結び、新たな時代を切り拓く大動脈であります。本道路は、福岡市を起点に県北地域を繋ぐ重要な道路として着実な整備が進められており、沿線の都市部や市街地という点が西九州自動車道という大きな線が繋がることにより、最大限の効果が発揮されます。今後とも、沿線の関係自治体と一緒に、全線開通に向け努力して参りたいと思ひます。関係する皆様には、引き続きご尽力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

「橋名板」感謝状贈呈式

伊万里松浦道路（調川IC、松浦IC）に完成した3つの橋の名前を、地の志佐小・中学校、調川小・中学校の児童・生徒の皆さんに書いてもらい、その書写により橋名板を製作しました。11月23日（金）には、選定された11名の皆さんへ感謝状を贈呈し、できあがった橋名板を自分の手でそれぞれ取り付けてもらいました。実際に自分の手で道路に設置することによって、自分で書いた文字が橋名板となって永久に残ることが実感できる様子でした。開通後も本道路に愛着をもつてご利用いただきたいと思います。



完成した橋名板をお披露目



橋名板を自らの手で取り付け



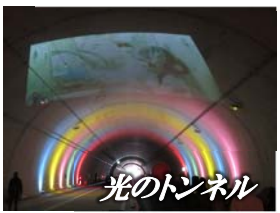
感謝状を贈呈

西九州道松浦IC 開通記念フェスタ

伊万里松浦道路（調川IC、松浦IC）の開通に先立ち、12月9日（日）に松浦IC開通記念フェスタが開催され、約1500人が来場されました。松浦市では「アジフライの聖地」を目指しており、ウオークラリーの参加者、先着1000名にアジフライが振る舞われ大人気でした。ウオークラリーの途中にも、参加者はアジの紙飛行機をとばして景品をゲットしたり、展示されている昭和の名車コレクションを堪能しました。また、トンネル内ではカラフルに照らされた光のトンネルや、トンネルシアターなどがあり、参加者は開通前の道路を歩きながら、イベントを楽しみました。



バルーンリリース



光のトンネル



ウォークラリースタート